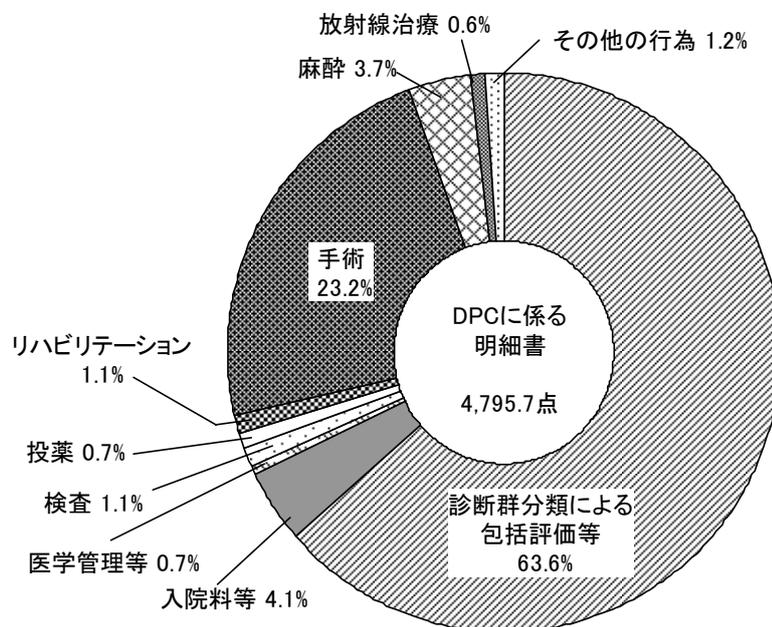


図9 診療行為別にみたDPCに係る明細書の1日当たり点数の構成割合

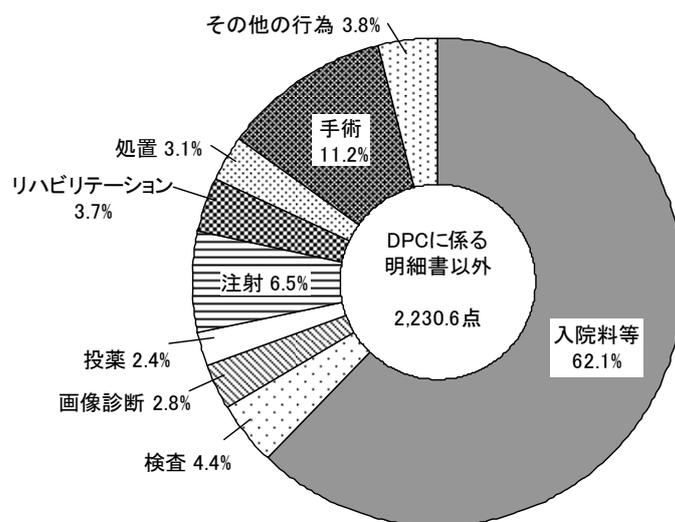
(平成19年6月審査分)



- 注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。
 2) 「その他の行為」は、「初・再診」「在宅医療」「画像診断」「注射」「精神科専門療法」及び「処置」である。

図10 診療行為別にみたDPCに係る明細書以外の1日当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



- 注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。
 2) 「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

5 傷病分類別にみた1日当たり点数

入院における傷病分類別1日当たり点数は、「VII 眼及び付属器の疾患」が一般医療、老人医療ともに最も高く、それぞれ5,715.9点、5,802.4点となっている。

入院外では、「XIV 腎尿路生殖器系の疾患」が一般医療、老人医療ともに最も高く、それぞれ1,594.9点、2,237.6点となっている。(表8)

表8 入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

傷病分類	入院		入院外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総数	2 714.6	2 270.4	658.8	733.8
I 感染症及び寄生虫症	2 970.1	2 530.9	577.8	608.6
II 新生物	4 012.3	3 186.2	1 590.4	1 665.3
胃の悪性新生物 (再掲)	3 823.0	3 573.7	1 409.7	1 117.0
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	3 603.9	3 019.5	1 987.4	1 664.9
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3 454.5	3 257.8	907.6	1 464.5
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	2 437.7	2 003.5	924.8	863.9
糖尿病 (再掲)	2 380.4	1 963.5	1 072.8	1 035.8
V 精神及び行動の障害	1 187.4	1 179.1	648.7	642.8
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	1 149.5	1 110.1	783.4	662.9
VI 神経系の疾患	2 114.9	1 748.7	676.0	785.4
VII 眼及び付属器の疾患	5 715.9	5 802.4	534.6	607.8
白内障 (再掲)	6 053.3	6 237.9	629.9	645.4
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3 747.2	2 248.0	396.2	394.3
IX 循環器系の疾患	4 093.9	2 345.4	723.8	675.1
高血圧性疾患 (再掲)	2 464.6	1 565.3	692.8	649.1
虚血性心疾患 (再掲)	10 265.8	3 939.8	851.7	728.3
脳梗塞 (再掲)	2 682.4	1 926.5	824.2	664.8
X 呼吸器系の疾患	3 308.5	2 488.4	473.1	769.4
肺炎 (再掲)	3 108.0	2 630.0	746.8	940.5
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	3 337.1	1 862.5	474.5	601.1
喘息 (再掲)	2 877.2	2 249.2	545.1	682.0
XI 消化器系の疾患	3 542.8	2 596.2	738.9	653.4
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	2 909.6	1 984.7	396.3	395.4
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	2 660.4	2 474.1	390.6	339.7
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	3 219.5	2 179.8	391.4	356.6
関節症 (再掲)	4 511.8	2 783.5	361.3	355.3
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	3 280.3	2 634.8	1 594.9	2 237.6
腎不全 (再掲)	3 138.5	2 672.5	3 162.1	3 012.1
尿路結石症 (再掲)	5 050.4	3 276.2	1 137.9	1 015.7
XV 妊娠、分娩及び産じょく	2 892.0	-	502.2	-
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2 960.9	2 360.9	490.3	482.9
骨折 (再掲)	2 694.4	2 343.4	510.0	483.3
その他の傷病	3 914.9	2 177.4	708.0	717.8

注:1) 傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

〔歯科診療〕

6 診療行為の状況

1件当たり点数は、1,339.8点で、前年に比べ83.9点、6.7%増加している。

1日当たり点数は、606.8点で、前年に比べ25.6点、4.4%増加している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」280.4点(構成割合46.2%)が最も高く、次いで「処置」102.2点(16.8%)、「初・再診」69.2点(11.4%)の順となっている。

1件当たり日数は2.21日で、前年に比べ0.05日増加している。(表9、図11)

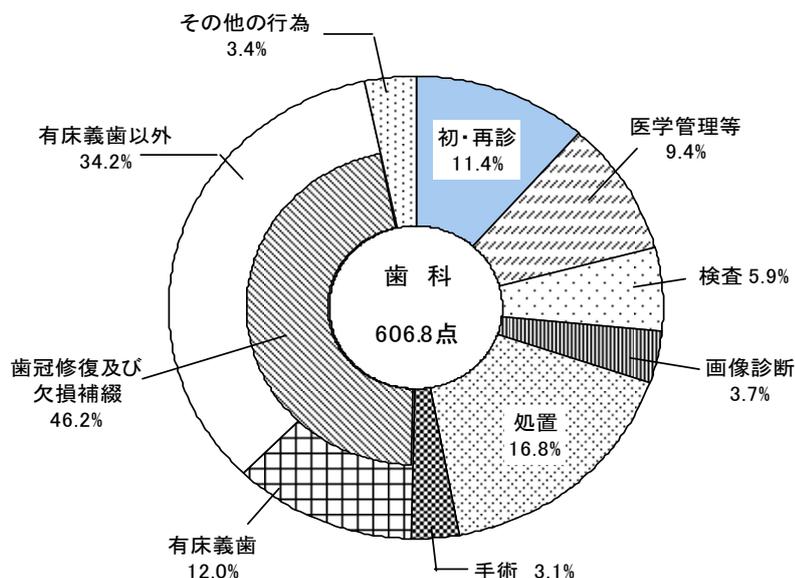
表9 診療行為別にみた1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年		平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	1 339.8	1 255.8	83.9	6.7	606.8	581.2	25.6	4.4
初・再診	152.7	146.5	6.2	4.3	69.2	67.8	1.4	2.0
医学管理等	126.0	126.9	△ 0.9	△ 0.7	57.1	58.7	△ 1.7	△ 2.8
在宅医療	10.0	9.1	0.9	9.7	4.5	4.2	0.3	7.4
検査	79.7	78.2	1.5	1.9	36.1	36.2	△ 0.1	△ 0.3
画像診断	49.1	46.7	2.3	5.0	22.2	21.6	0.6	2.7
投薬	23.5	22.3	1.1	5.1	10.6	10.3	0.3	2.8
注射	1.1	1.2	△ 0.0	△ 0.5	0.5	0.5	△ 0.0	△ 2.7
リハビリテーション	0.1	0.1	0.0	33.4	0.1	0.0	0.0	30.5
処置	225.6	198.5	27.2	13.7	102.2	91.8	10.3	11.3
手術	41.3	42.0	△ 0.7	△ 1.7	18.7	19.4	△ 0.7	△ 3.8
麻酔	2.9	2.9	△ 0.1	△ 2.1	1.3	1.4	△ 0.1	△ 4.2
放射線治療	0.2	0.2	0.0	1.7	0.1	0.1	△ 0.0	△ 0.5
歯冠修復及び欠損補綴	619.2	572.5	46.7	8.2	280.4	265.0	15.5	5.8
歯科矯正	0.4	1.4	△ 1.0	△ 71.0	0.2	0.6	△ 0.5	△ 71.6
入院料等	7.9	7.3	0.6	8.2	3.6	3.4	0.2	5.9
(1件当たり日数)	(2.21)	(2.16)						

図11 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

7 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,288.4 点、老人医療 1,718.7 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 593.5 点、老人医療 692.4 点で、年齢階級別にみると、「75歳以上」688.6 点が最も高く、次いで「65～74歳」622.4 点となっており、「0～14歳」476.2 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が高く、「処置」の割合が低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 2.17 日、老人医療 2.48 日となっている。(表 10、図 12)

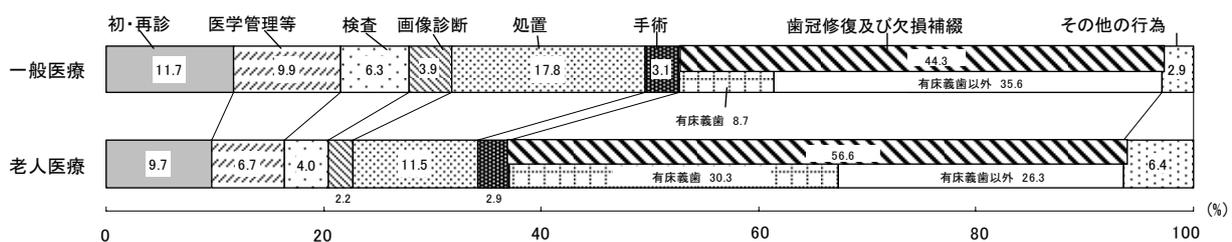
表 10 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた診療行為別 1 件当たり点数・1 日当たり点数・1 件当たり日数

(平成19年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総初診	1 288.4	1 718.7	774.0	1 228.5	1 392.0	1 557.6	1 719.8
・再診	150.7	167.5	166.8	149.3	145.5	154.0	165.2
医学管理	127.5	115.1	109.5	130.0	131.7	128.1	115.2
在宅医療	3.1	60.9	0.5	3.1	3.5	13.6	51.2
検査	81.1	69.0	22.5	95.5	91.2	85.2	69.2
画像診断	50.5	38.4	27.9	68.7	50.7	43.8	38.4
投薬	22.9	27.4	6.4	25.6	25.1	27.2	28.1
注射	1.0	2.2	0.1	1.1	1.1	1.4	2.3
リハビリテーション	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4
処置	229.5	197.4	100.6	253.1	256.0	236.7	200.8
手術	40.2	49.3	21.5	41.0	43.9	46.5	48.6
麻酔	3.0	2.2	1.4	5.1	2.7	2.0	2.2
放射線治療	0.1	0.6	-	0.0	0.1	0.2	0.7
歯冠修復及び欠損補綴	571.3	972.4	313.7	445.8	633.4	809.8	981.6
歯科矯正	0.5	0.0	0.7	1.4	0.0	0.0	-
入院料等	6.9	15.9	2.3	8.7	6.7	9.1	15.9
1 日 当 た り 点 数							
総初診	593.5	692.4	476.2	595.7	611.4	622.4	688.6
・再診	69.4	67.5	102.6	72.4	63.9	61.5	66.1
医学管理	58.7	46.4	67.4	63.0	57.9	51.2	46.1
在宅医療	1.4	24.5	0.3	1.5	1.6	5.5	20.5
検査	37.4	27.8	13.8	46.3	40.0	34.0	27.7
画像診断	23.3	15.5	17.2	33.3	22.3	17.5	15.4
投薬	10.6	11.0	4.0	12.4	11.0	10.9	11.3
注射	0.5	0.9	0.0	0.6	0.5	0.6	0.9
リハビリテーション	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2
処置	105.7	79.5	61.9	122.7	112.4	94.6	80.4
手術	18.5	19.9	13.3	19.9	19.3	18.6	19.5
麻酔	1.4	0.9	0.9	2.5	1.2	0.8	0.9
放射線治療	0.0	0.2	-	0.0	0.1	0.1	0.3
歯冠修復及び欠損補綴	263.2	391.8	193.0	216.2	278.2	323.6	393.0
歯科矯正	0.2	0.0	0.4	0.7	0.0	0.0	-
入院料等	3.2	6.4	1.4	4.2	2.9	3.6	6.3
1 件 当 た り 日 数							
	2.17	2.48	1.63	2.06	2.28	2.50	2.50

図 12 一般医療 - 老人医療別にみた診療行為別 1 日当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

8 傷病分類別にみた1日当たり点数

1日当たり点数は、一般医療では「顎、口腔の嚢胞」が最も高く、1,996.9点となっており、次いで「顎骨疾患等」が1,465.3点となっている。また、老人医療では「新生物」が最も高く、2,099.3点となっており、次いで「顎、口腔の嚢胞」が1,629.6点となっている。(表11)

表11 一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数
(平成19年6月審査分)

傷病分類	一般医療	老人医療
総数	593.5	692.4
う蝕	609.8	736.0
感染を伴わない歯牙慢性硬組織疾患	253.8	111.9
歯髄炎等	544.7	715.6
根尖性歯周炎(歯根膜炎)等	514.8	520.2
歯肉炎	481.2	318.9
歯周炎等	533.3	597.2
歯冠周囲炎	406.5	373.5
顎、口腔の炎症及び膿瘍	959.8	1 313.5
顎、口腔の先天奇形及び発育障害	694.5	601.3
顎機能異常	614.2	455.3
顎、口腔の嚢胞	1 996.9	1 629.6
顎骨疾患等	1 465.3	279.5
口腔粘膜疾患	264.2	385.5
新生物	1 267.9	2 099.3
口腔、顔面外傷及び癒合障害等	612.4	658.7
補綴関係(歯の補綴)	895.7	812.1
その他	822.5	878.5

注：傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。

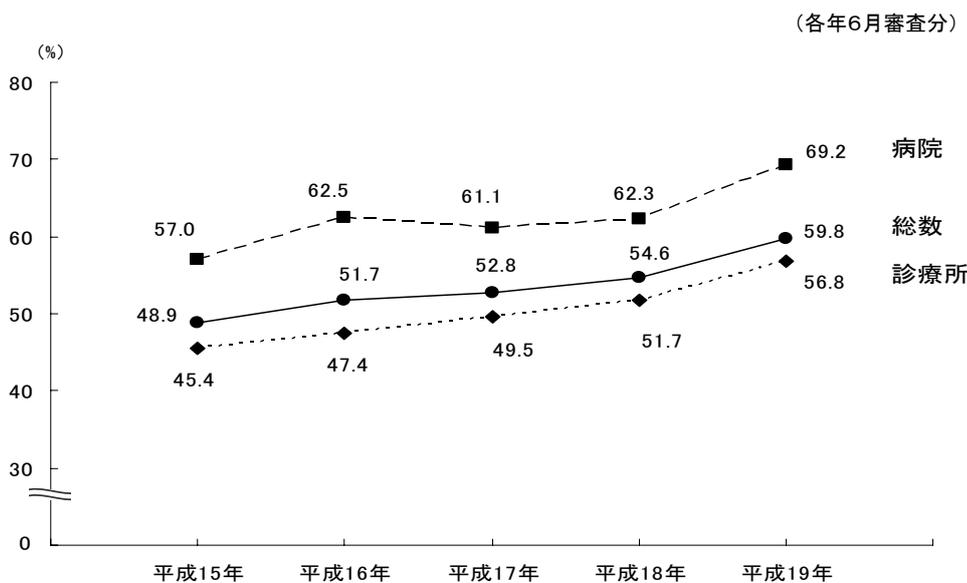
〔院外処方〕

9 院外処方率

医科の入院外における院外処方率は、総数で59.8%となっており、前年に比べ5.2ポイント上昇している。これを病院・診療所別にみると、病院69.2%、診療所56.8%となっており、前年に比べそれぞれ6.9ポイント、5.1ポイント上昇している。

病院を種類別にみると、「特定機能病院」74.3%が最も高く、診療所の診療科目別では、「耳鼻いんこう科」74.8%が最も高くなっている。（表12、図13）

図13 病院 - 診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移



注: 院外処方率 = $\frac{\text{処方せん料の算定回数}}{(\text{処方料} + \text{処方せん料})\text{の算定回数}} \times 100$

表12 病院の種類 - 診療所の診療科目別院外処方率

(各年6月審査分)

	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	増減
医科総数	59.8	54.6	5.2
病院	69.2	62.3	6.9
精神科病院	37.2	38.6	△ 1.4
特定機能病院	74.3	71.1	3.2
療養病床を有する病院	72.1	57.7	14.5
一般病院	69.4	65.8	3.6
診療所	56.8	51.7	5.1
内科	52.9	47.6	5.3
精神科又は神経科	72.8	67.8	5.0
小児科	64.3	61.9	2.3
外科	49.3	43.5	5.9
整形外科	55.9	49.4	6.5
皮膚科	63.2	63.6	△ 0.4
泌尿器科	55.0	52.9	2.1
産婦人科	26.8	23.9	2.9
眼科	66.3	59.8	6.5
耳鼻いんこう科	74.8	66.2	8.6
その他	59.3	55.7	3.6

注:「その他」は、主として人工透析を行っている診療所、または、主たる診療科目が「内科」から「耳鼻いんこう科」以外の診療所である。

〔薬局調剤〕

10 調剤行為の状況

1件当たり点数は 1,000.4 点で、前年に比べ 41.4 点、4.3%増加している。

処方せんの受付1回当たり点数は 710.5 点で、前年に比べ 44.0 点、6.6%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」518.2 点が最も高く、次いで「調剤技術料」153.9 点、「薬学管理料」37.3 点となっている。

1件当たり受付回数は1.41 回で、前年に比べ0.03 回減少している。(表13、図14)

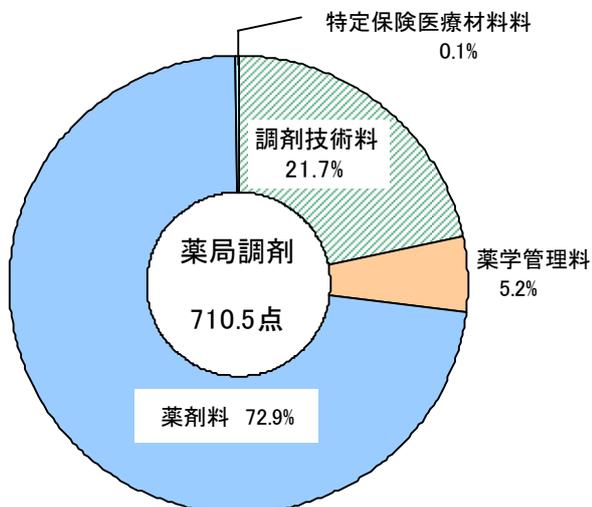
表13 調剤行為別にみた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

(各年6月審査分)

調剤行為	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年	
			増減点数	増減率(%)
1 件 当 たり 点 数				
総 数	1 000.4	959.0	41.4	4.3
調 剤 技 術 料	216.7	219.8	△ 3.0	△ 1.4
薬 学 管 理 料	52.5	52.8	△ 0.3	△ 0.6
薬 剤 料	729.6	685.3	44.3	6.5
特定保険医療材料料	1.5	0.9	0.5	58.3
受 付 1 回 当 たり 点 数				
総 数	710.5	666.5	44.0	6.6
調 剤 技 術 料	153.9	152.8	1.2	0.8
薬 学 管 理 料	37.3	36.7	0.6	1.5
薬 剤 料	518.2	476.3	41.9	8.8
特定保険医療材料料	1.0	0.6	0.4	61.8
1 件 当 たり 受 付 回 数				
	1.41	1.44		

図14 調剤行為別にみた受付1回当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



1.1 一般医療と老人医療別にみた調剤行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 867.1 点、老人医療 1,421.3 点、受付1回当たり点数は、一般医療 637.3 点、老人医療 912.6 点となっており、いずれも老人医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、「薬剤料」の割合が一般医療 71.6%、老人医療 75.6%となっている。

年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて1件当たり点数、受付1回当たり点数ともに高くなっている。(表14、図15・16)

表14 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	総数	一般医療	老人医療	年齢階級				
				0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
1件当たり点数								
総数	1 000.4	867.1	1 421.3	509.6	643.9	975.7	1 208.4	1 395.7
調剤技術料	216.7	193.6	289.7	187.6	157.1	196.6	230.9	288.3
薬学管理料	52.5	51.3	56.2	62.6	47.7	48.0	51.3	56.1
薬剤料	729.6	620.7	1 073.8	258.6	438.6	728.8	924.1	1 050.0
特定保険医療材料料	1.5	1.5	1.4	0.7	0.5	2.2	1.9	1.2
受付1回当たり点数								
総数	710.5	637.3	912.6	337.0	508.9	740.0	860.3	897.9
調剤技術料	153.9	142.3	186.0	124.1	124.2	149.1	164.4	185.5
薬学管理料	37.3	37.7	36.1	41.4	37.7	36.4	36.5	36.1
薬剤料	518.2	456.2	689.5	171.0	346.7	552.8	658.0	675.5
特定保険医療材料料	1.0	1.1	0.9	0.5	0.4	1.7	1.3	0.8
1件当たり受付回数								
	1.41	1.36	1.56	1.51	1.27	1.32	1.40	1.55

図15 一般医療 - 老人医療別にみた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合 (平成19年6月審査分)

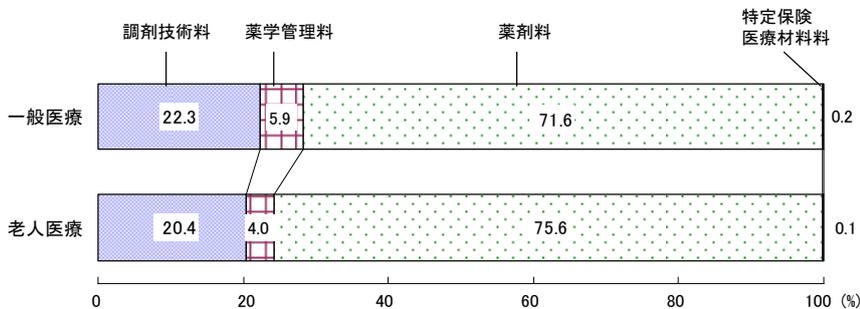
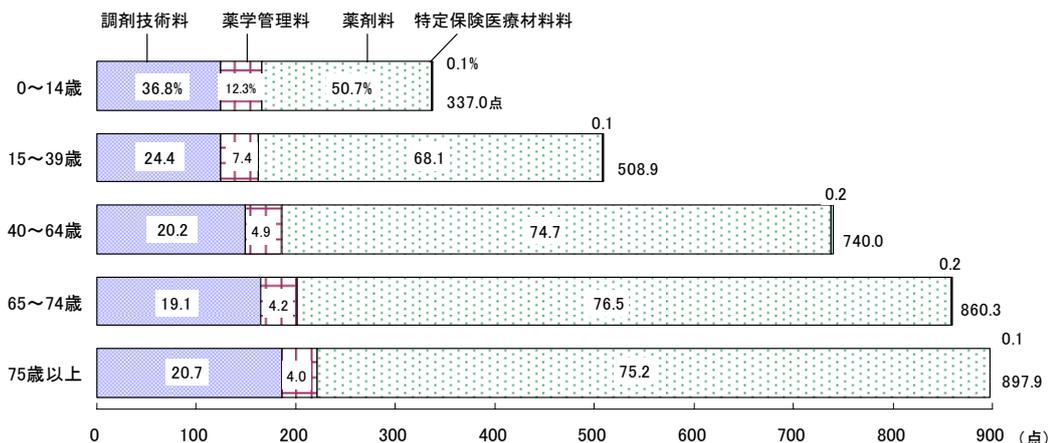


図16 年齢階級別にみた調剤行為別受付1回当たり点数

(平成19年6月審査分)



Ⅱ 薬剤の使用状況

1 薬剤料の比率

医科総点数に薬局調剤分を合算して求めた薬剤料の割合は、総数 29.0%、入院 10.9%、入院外 36.6%となっており、そのうち、「投薬」及び「注射」で使用された薬剤料の割合は、それぞれ、27.3%、9.1%、34.9%となっている。

前年と比較すると、医科総点数に薬局調剤分を合算して求めた薬剤料の割合は、総数では 0.4 ポイント上昇、入院では 0.3 ポイント低下しており、入院外では 0.06 ポイント上昇している。(表15、図17)

表15 入院 - 入院外別にみた医科（薬局調剤分を含む）の薬剤料の比率の年次推移

(単位: %)		(各年6月審査分)					
		平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	
医 科 (薬 局 調 剤 分 を 含 む)	総 数						
	薬剤料	27.6	27.5	28.7	28.6	29.0	
	投薬・注射	25.5	25.3	26.8	26.9	27.3	
	投薬	20.6	20.7	21.7	22.5	22.7	
	注射	4.9	4.6	5.1	4.4	4.5	
	その他	2.1	2.2	1.9	1.7	1.8	
	入 院						
	薬剤料	12.0	11.3	12.3	11.2	10.9	
	投薬・注射	9.8	9.4	10.4	9.4	9.1	
	投薬	2.6	2.5	2.5	2.6	2.6	
	注射	7.1	6.9	7.9	6.9	6.6	
	その他	2.2	2.0	1.9	1.8	1.8	
	入 院 外						
	薬剤料	36.6	35.8	37.0	36.6	36.6	
	投薬・注射	34.6	33.5	35.1	34.9	34.9	
投薬	30.9	30.1	31.5	31.6	31.1		
注射	3.7	3.4	3.6	3.3	3.7		
その他	2.0	2.3	1.9	1.7	1.8		

注: 1) 比率は、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書のみ除外し、薬局調剤分の総点数、薬剤料(内服薬及び外用薬を「投薬」、注射薬を「注射」)を合算した割合である。

2) 「薬剤料」とは、総点数に占める「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合である。

3) 「その他」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。

4) 入院時食事療養費等(円)は、点数換算(入院時食事療養費等÷10)して総点数に含めている。

5) 医科一歯科一薬局調剤別にみた薬剤料の比率は、統計表第13表に掲載している。

図17 入院 - 入院外別にみた医科（薬局調剤分を含む）の薬剤料の比率の年次推移

(各年6月審査分)

